

陳情第 34号

みんなに喜んで頂けるものをつくろう！！（2）  
次世代のため、地域社会発展に関する陳情書

- 1 受理年月日 平成28年8月18日
- 2 陳情者 立川市上砂町1-13-1-11-306  
株式会社 一晋社  
代表取締役 渡邊 義文

3 陳情の要旨

言葉が悪いですが、私が言わなければ、誰も言わないので、あえて言わせて頂きます「プロの目ごまかし、公の場所、公の時間を利用して、無駄な血税を使い、「オレ、オレ、詐欺よりまだ悪い」立川市第4次長期総合計画書、人間はウソをつきますが「数字」はウソをつきません。平成28年8月末日までにプレゼン付の対案示し、公報を使い立川市民の民意を問うて下さい、すぐに正邪が分かります。

陳情1 サンデー毎日2011, 3, 13発行の東京都の24公園赤字ランキングですが、立川の赤字公園、遊休地、休耕地が掲載されていないこと。

陳情2 地権者、民間、行政、産、学、行、農業、林業、水産の三位一体を絶対条件として、二度と失敗しないように、約20年間の経営シミュレーション（プレゼン）を作成し、儲かるものづくり現実を解決して理想を追求して、楽しく、明るく、永住できる街づくりの実現の計画作り方を掲載されていないこと。

陳情3 平成22年6月閣議決定の、大幅消滅目標、先導性、モデル性、地域適応性、持続性、実現可能性の6ポイント満足の環境未来都市建設が掲載されていない「デタラメな第4次長期総合計画」反論があったら平成28年8月末日までに対策を示してください。

陳情4 実在する「ふるさと投資」の仕組み、公募県債、一般会計補正予算案に業者への委託料を計上している市、平成25年9月13日各都道府県税務担当課・市町村担当課に総務省自治税務局市町村税課から指示のあった「ふるさと寄付金制度」の本質を知らないこと（指導者は当社が提出済み）

陳情5 地域医療、年々170人増となる待機児童、安心安全、生涯学習のスマートウエルズ拠点を建設要項に入っていないこと、またスマートウエルズの言葉さえもしらないこと。

陳情6 地方移住、定住支援、子育て支援については他の市、町、村で成功しているのに立川市は実施していないこと。夢と希望の世界が広がった！！こんな低炭素社会の未来の街に住みたかった！！が「デタラメな立川市第4次長期総合計画」に掲載されていないこと。約3年間で230棟完売して

いる市があります。

- 陳情 7 日本版DMOを核とする観光地域づくりに対する、支援メニューが掲載されていないこと、ゆえに観光、文化、芸術、教育などすべてにおいて幼稚な「デタラメな立川市第4次長期総合計画」で「人のフンドシで相撲を取っている」だけです。
- 陳情 8 農家の人と農地が泣いている現実を知らないこと、大至急、当社の総合企画の日本で、最初の三位一体の営農支援栽培アドバイス付の強い農林水産づくり、国際農林水産認定の儲かるものをつくり現実を解決して、理想を追求する、指導さえ出来ない、立川市長、議会、職員「デタラメな第4次長期総合計画」と高慢しているだけであること。
- 陳情 9 人づくり、国際交流、教育関連事業が掲載されていないこと、人口減少との理由で、「にぎわいとやすらぎと交流の立川」とあるが、具体的な案が掲載されていないこと、何とセンスのないことか、対案も指導も出来ない行政マンの集団であること。
- 陳情 10 歴史的に旧長岡藩の「米百俵」で証明されている、私の紹介する、「良き師匠について教わり」留学制度の充実は、経済で得になり、外交で得になり、教育で得になり、あらゆる分野で得になりますので「デタラメな立川市の長期総合計画」を中止して、立川市民の民意を問うて当社の総合企画を大至急実施すべきです。特に立川市は将来、三多摩地区、世界の中心となるのに「大学」さえないのですよ。
- 陳情 11 「スポーツは世界共通の人類の文化である、総合型地域スポーツクラブで私の世界が広がった」の項目さえ掲載されていないですよ。  
立川市の第4次長期総合計画の正当性を大至急説明して下さい。
- 陳情 12 当社の総合企画の三位一体の事業スキーム案を採用することです。
- 陳情 13 結論としては、「デタラメな立川市4次長期総合企画」を廃止し選定された国立公園のように国営昭和記念公園・立川広域防災基地の公園の中に、国策である<明日の日本を支える観光ビジョン>と<六拍子揃った環境未来都市建設>当社と業務契約をしているトヨタホーム東京株式会社が販売、契約、建設、管理するハウスメーカーの中で唯一60年保証している当社設計案の多目的・国際ペンション村、約300棟と当社の公園事業を建設として、立川市は三多摩地区の中心地、将来の世界の中心地とすべきです。敷地面積は充分あります。対策があったら大至急示して、民意を問います。
- 陳情 14 私の良き師匠は、体験することは苦しいことです、しかしその苦しい体験がなければ円満な指導者になれないと、教えています。高慢にならず、もっと、もっと謙虚になって、学者に負けないように勉強することです。

以上